
Beautiful World ~やさしい言葉~

十六夜 あやめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Beautiful World ～やさしい言葉～

【Nコード】

N7066J

【作者名】

十六夜 あやめ

【あらすじ】

世界はどんなところなのだろう。

幸せな場所？ 楽しい場所？ 悲しい場所？ ひどい場所？
いや、美しい世界だと思う。そう思えるお話

(前書き)

この地球(世界)の出来事を書いてみました(^^) /

このせかいはとてもひろい。

私たちの目には収まりきらないくらい。

この世界はいたくてつらくてひどい。

でも。

?それでも?

.....。

?それなのに?ね。

あたたかいものであふれているの。

なきたくなるのは、どうしてかな。

ある街に来ていた私。

そこで無邪気に笑いながら遊んでいる女の子がいたの。
幸せそうに。

その女の子は大きな瞳のかわいい子だった。

きれいな栗色の髪。　白い肌。

そんな女の子が私に話しかけてきたの。

お姉ちゃんはひとりなの？って。

素直にうんって答えた。だって独りだから。

「さみしくないの？」

まっすぐその女の子の目を見て、「淋しくなんてないよ。わたしは幸せだから」

強がり……………かな。

女の子は突然、私の手をとって走り出した。

私はその女の子の小さな歩幅に合わせてようっにしてついて行くことにした。

「お姉ちゃん、目を閉じて」

「……？ うん」

言われたように目を閉じた。

どこかに向かって歩いてる……？

見えないけど階段を上がっているのはわかった。

「お姉ちゃん、目を開けていいよ」

眩しい。

気がつくと今にも崩れ倒れそうな建物の屋上に立っていた。

「綺麗……」

そこには、青紫色に染まる空に、沈んでいく大きなオレンジ色の塊があった。

「きれいでしょ。ここ、お気に入りなの」

世界はこんなに綺麗なの……。

どうしてこんなに世界が綺麗なの？

この女の子は知らないんだ。

この世界がひどくてつらいところだということ。

「お姉ちゃんがまたこの街にきたら、この景色をまた一緒に見ようね」

笑ってた。

「さっ」

それから私は街を後にした。

女の子は私の姿が見えなくなるまで手を振り続けていた。

街を出て2日目。

世界がひどく、つらいところだと知る。

今朝の新聞にあの街が謎の火災によって消滅したと書かれていた。

思わず天を仰いだ。

空は哀しい鉛色をしていた。

ぽつぽつと雨が降り出した。

「やっぱり、わたしは独りのほうがいい。これ以上悲しい思いをしないですむから……」

このせかいはとてもひろい。

私たちの目には収まりきらないくらい。

この世界はいたくてつらくてひどい。

でも。

?それでも?

.....。

？それなのに？ね。

あたたかいものであふれているの。

涙があふれているのは、どうしてかな。

(後書き)

読んでいただきありがとうございます。

世界はひどいところじゃないと思っていただけましたか？
そう思っていただけならうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7066j/>

Beautiful World ~やさしい言葉~

2010年10月17日23時46分発行